

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成27年10月7日

文部科学大臣殿

信州大学長
濱田 州博

下記の課程を職業実践力育成プログラムに申請します。

記

①学校名:	信州大学 大学院	②所在地:	長野県松本市旭3-1-1				
③課程名:	信州大学大学院総合理工学研究科 超微細加工技術社会人スキルアップ コースプログラム	④正規課程/履修 証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	平成24年4月1日		
⑥責任者:	総合理工学研究科長 尾関 寿美男	⑦定員:	5名	⑧期間:	1年間		
⑨申請する課程 の目的・概要:	長野県諏訪圏は精密加工分野の中堅・中小企業が多数集積しており、企業ニーズの多様化や技術革新のスピードに対応するため、高度な専門知識と幅広い知見、最先端技術を有する技術者が強く求められている。信州大学大学院総合理工学研究科 超微細加工技術社会人スキルアップコースプログラムにおいては、企業在職者を対象にした実践的オンデマンド型カリキュラムを提供し、各人が抱える課題(テーマ)を解決できる中核人材の育成を目指す。精密加工・製造分野での技術革新を担う人材を創出し、企業の新製品開発や技術革新などを通して、地域経済の活性化にも寄与する。						
⑩4テーマへの 該当の有無	中小企業活性化	⑪履修資格:	・大学を卒業した者 ・学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者 ・本プログラムの資格審査により大学を卒業したと同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者				
⑫対象とする職 業の種類:	精密加工・製造関連企業に勤務する者						
⑬身に付けるこ とのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 超微細加工に関する知識・先端技術		(得られる能力) 問題解決能力、提案型開発能力				
⑭教育課程:	本プログラムは、講義・演習・実習を岡谷・諏訪近隣の協力企業や協力機関において受講でき、最先端の精密加工技術を実践的に学べる。カリキュラムは、各企業のニーズ・個人の課題(テーマ)解決等に対応できる「オンデマンド型」の教育課程を取り入れている。各授業の概要は以下のとおりである。 超精密加工実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳでは、超精密加工技術の基礎知識を理解することに加え、協力企業で実際に加工することで微細精密加工や計測技術に関する基礎技術を修得することができる。つくばの産業技術総合研究所で実施される先端精密加工実習では、最先端のMEMS技術を修得することができる。超精密加工学特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲでは、切削加工、塑性加工、砥粒加工の基礎知識を修得することができる。発明的問題解決理論では、理論的なアイデア発想法に関する知識を修得することができる。表面処理・計測評価技術特論では、材料の組成や真空技術などを修得することができる。先端材料学特論では、カーボンナノファイバーなどを代表とする新しい材料に関する知識を修得することができる。精密位置決め技術特論では、精密加工に必要な不可欠な制御に関する知識・技術を修得することができる。管理技術特論Ⅰ・Ⅱでは、ものづくり現場に必要な品質に関する基本姿勢、基本的な考え方・手法に関する知識を修得することができる。機械システム演習第Ⅰでは、研究の進め方、プレゼンテーション能力を修得することができる。 本プログラムでは、自ら問題を解決できる人材、さらに新製品開発や技術革新などを提案できる人材など、いわゆる精密加工分野でのエキスパートとして活躍し、地域経済へのより一層の活性化に寄与できる人材育成を目指す。						
⑮修了要件(修 了授業時数等):	講義・実習科目からそれぞれ1科目以上、合計120時間以上を受講し認定を受けること。						
⑯修了時に付与 される学位・資格等:	履修証明書						
⑰総授業時数:	430 時間	⑱要件該当授 業時数:	286時間	該当 要件	1. 2. 3. 4	⑲要件該当授業時数 /総授業時数:	67%

⑳成績評価の方法:	科目毎にレポート又は試験を課して成績を評価する。
㉑自己点検・評価の方法:	定期的に諏訪圏の企業、行政（岡谷市）、公設試験場（長野県工業技術総合センター）、長野県テクノ財団、信州大学から構成される「諏訪圏運営会議」を開催し、「教育課程の編成」についての検討や「自己点検・評価」を行う。
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了生に対して定期的にアンケートを実施し、学会発表、特許出願等について調査を行う。さらに修了生で構成される「信州・諏訪圏テクノ研究会」を発足させ、修了後も定期的にセミナー・研究発表等を行う。
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	<p>(教育課程の編成) 「諏訪圏運営会議」を定期的を開催し、教育課程について構成員の意見を聞き、PDCAによるスパイラルアップを行う。</p> <p>(自己点検・評価) 修了生及びその企業に対するアンケート等を実施し、自己点検・評価を行う。また、「諏訪圏運営会議」・「諏訪圏ものづくり人材育成協議会」構成員から意見を聞き点検・評価を行う。</p>
㉔社会人の受講しやすい工夫:	平日は18時からの夜間開講，土曜日の集中講義による開講
㉕ホームページ:	(URL) http://www.mech.shinshu-u.ac.jp/graduate/suwa-graduate.html